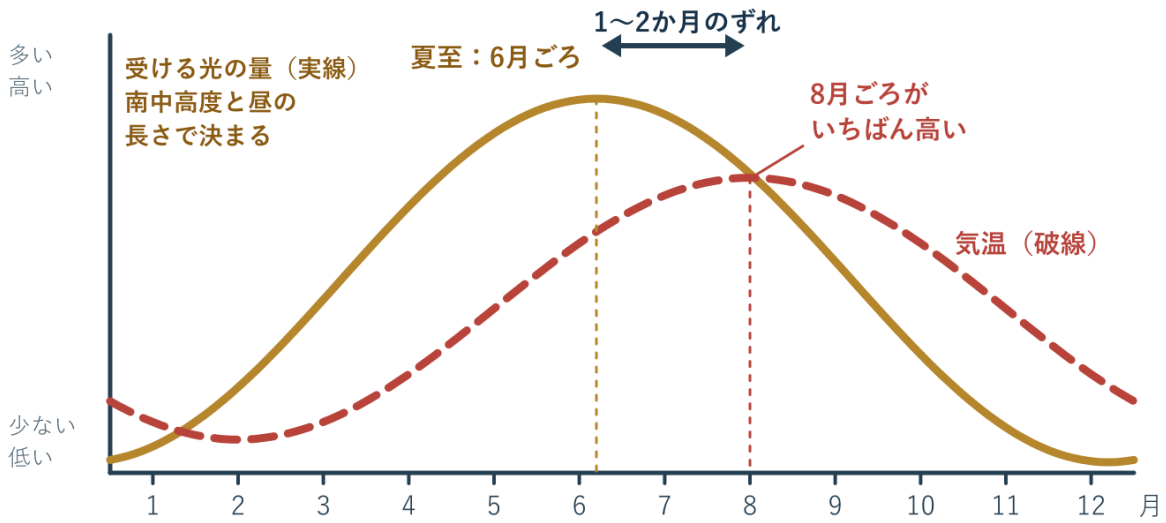
夏至より8月のほうが暑いわけ

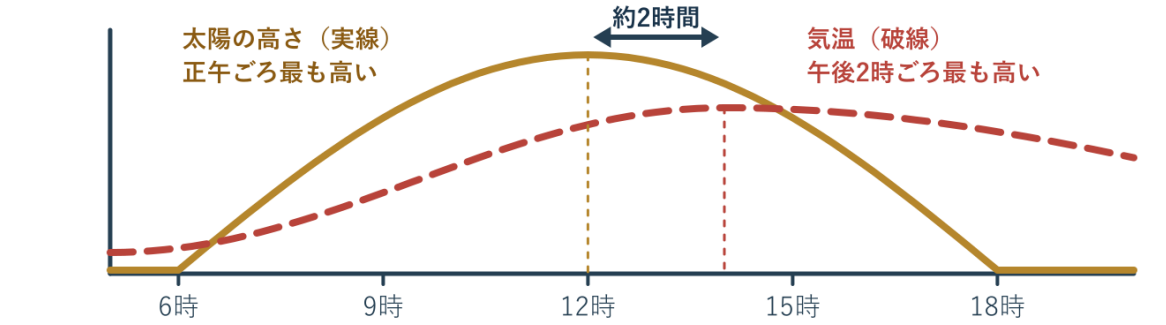
太陽が最も高く昼が最も長いのは6月なのに、いちばん暑いのはなぜ8月ごろなのか

1年：太陽から受ける光の量と気温（模式）



2本の線は別の量で、高さどうしは比べられない。数値は示していない。

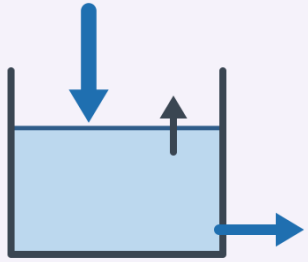
1日でも同じずれが起こる（晴れた日の模式）



水そうのたとえで考える

発展

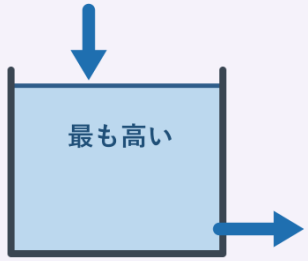
入る水 ＝ 太陽から受け取る熱
出る水 ＝ 地面や空気から出ていく熱
水の高さ ＝ 気温



6月ごろ

入る水 ＞ 出る水

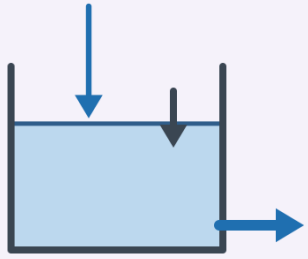
水の高さは上がり続ける。
受ける光は最も多い。



8月ごろ

入る水 ＝ 出る水

水の高さが最も高くなる。
受ける光は減り始めている。



10月ごろ

入る水 ＜ 出る水

水の高さは下がっていく。
受ける光がさらに減る。

※ グラフは模式で、実測値ではない。場所や年で違い、日本ではつゆの雲で6月の日ざしが弱まることも関わる。